

第2日 10月29日(金) A会場(ベイシア大ホール)

シンポジウム2 バイオマーカー

9:00 ~ 11:30

司会/棟居 俊夫(金沢大学子どものこころの発達研究センター)
福田 正人(群馬大学大学院医学系研究科医学部神経精神医学)

- S2-1 発達障害の事象関連電位と NIRS
澤田 将幸(奈良県立医科大学精神医学教室)
- S2-2 発達障害の NIRS・MRI・DTI
石井 礼花(東京大学精神神経科)
- S2-3 前駆状態・初発統合失調症の Neuroimaging
太田 深秀(国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第3部)
- S2-4 社会的逸脱行動と脳機能
福井 裕輝(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所司法精神医学研究部)

ランチョンセミナー1

11:50 ~ 12:50

司会/荒川 浩一(群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野)

小児がんなどの難病の小児やその家族への支援 ~トータルケア~
細谷 亮太(聖路加病院小児医療センター)

会長講演

13:00 ~ 14:00

司会/齊藤 万比古(国立国際医療研究センター国府台病院)

児童青年精神医学・医療におけるリエゾンとレジリエンスに関連する脳科学の最近の進歩
三國 雅彦(群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学分野)

倫理検討委員会よりのお知らせ

14:00 ~ 14:30

学会演題抄録と倫理的配慮
田中 究(倫理検討委員会委員長)

特別講演1

14:30 ~ 15:40

司会/三國 雅彦(群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学分野)

自閉症スペクトラム障害における就労問題から見えるもの
山崎 晃資(目白大学人間学部子ども学科)

シンポジウム3 思春期から成人期の広汎性発達障害

15:50 ~ 18:20

司会/市川 宏伸(東京都立小児総合医療センター)
近藤 直司(山梨県立精神保健福祉センター/山梨県中央児童相談所)

- S3-1 思春期と成人期の自閉症スペクトラム:必要な支援は何か?
内山 登紀夫(福島大学大学院)
- S3-2 彼らの精神的自立とその挫折
田中 哲(東京都立小児総合医療センター)
- S3-3 自閉症スペクトラム障害 青年期について
中野 育子(札幌トロイカ病院)
- S3-4 発達障害者の就労支援
小川 浩(大妻女子大学人間関係学部)

(指定討論) 日詰 正文
(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課地域移行・障害児支援室)

第2日 10月29日(金) B会場(ベイシア小ホール)

教育講演7 9:00～10:10

司会/松田 文雄(医療法人翠星会松田病院)

注意欠如・多動性障害(ADHD)の包括的治療・支援
根來 秀樹(奈良教育大学 教育学部障害児医学分野)

教育講演8 10:20～11:30

司会/西村 良二(福岡大学医学部精神医学教室)

思春期症例の診断と心理療法
青木 省三(川崎医科大学精神科学教室)

ランチョンセミナー2 11:50～12:50

司会/村松 一洋(群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野)

エピジェネティクスからみた発達障害
久保田 健夫(山梨大学大学院医学工学総合研究部環境遺伝医学講座)

教育講演9 15:50～17:00

司会/山崎 透(静岡県立こども病院こどもと家族のこころの診療センター)

てんかんの精神症状
兼本 浩祐(愛知医科大学精神科学講座)

教育講演10 17:10～18:20

司会/飯田 順三(奈良県立医科大学看護学科人間発達学)

児童期双極性障害の臨床像
十一 元三(京都大学大学院医学研究科人間健康科学系)

第2日 10月29日(金) C会場(ベイシア402/403)

子どもの人権と法に関する委員会パネルディスカッション 9:00～11:30

「子どもの事件と情報開示」

司会/高岡 健(岐阜大学医学部精神科)
安保 千秋(都大路法律事務所)

- ① こどもの事件と情報開示—自閉症児を持つ親の立場から
大屋 滋(千葉県自閉症協会、旭中央病院脳神経外科)
- ② 法律が予定している情報の公開・開示
西村 武彦(札幌弁護士会)
- ③ こどもの事件と情報開示—精神科医の立場から
太田 順一郎(岡山市こころの健康センター)
- ④ 少年事件と情報開示
池谷 孝司(共同通信社会部次長)

「学会発表と倫理的配慮について」

司会／太田 順一郎（岡山市こころの健康センター）
木村 一優（こころのクリニック石神井）
指定討論者／田中 浩一郎（京都市児童福祉センター）

- ① 臨床研究倫理指針について
田宮 憲一（厚生労働省研究開発振興課）
- ② 日本総合病院精神医学会における『論文投稿および学会発表における
プライバシー保護に関する倫理指針』
松岡 豊（国立精神・神経医療研究センター室長／「総合病院精神医学」編集委員）
- ③ 日本小児科学会における学会発表と倫理的配慮について
加部一彦（愛育病院新生児科／日本小児科学会倫理委員会 委員）
- ④ 第51回日本児童青年精神医学会総会応募演題の倫理的側面からの検討
廣常 秀人（独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター精神科／日本児童青年精神医学
学会倫理検討委員会委員）
(指定討論) 田中 浩一郎（京都市児童福祉センター）

第2日 10月29日（金） E会場（ベイシア展示室）

ポスター

9:20 ~ 11:35

◆情緒障害児短期治療施設（9:20 ~ 10:05） 座長／八木 修司（関西福祉大学社会福祉学部）

P1-1 新設の情緒障害児治療施設における治療の現状

早川 洋
こどもの心のケアハウス嵐山学園

P1-2 新設の情緒障害児治療施設における職員のメンタルヘルス調査

早川 洋
こどもの心のケアハウス嵐山学園

P1-3 情緒障害児短期治療施設における広汎性発達障害児に対する支援の有効性

酒井 貴庸^{1,2}, 設楽 雅代², 坂野 雄二³
1. 北海道医療大学心理科学研究科, 2. 情緒障害児短期治療施設バウムハウス,
3. 北海道医療大学心理学部

◆不安障害・気分障害・パーソナリティ障害（10:20 ~ 11:35）

座長／菊地 祐子（東京都立小児総合医療センター）

P2-1 児童思春期強迫性障害の神経心理学的特徴に基づいた1年後予後の関する研究

小平 雅基, 宮崎 央桂, 岩垂 喜貴, 宇佐美 政英, 渡部 京太, 齊藤 万比古
国立国際医療研究センター国府台病院

P2-2 児童思春期の強迫性障害に対するβ受容体遮断薬の使用経験

牛島 洋景¹, 小平 雅基²
1. 熊本大学大学院医学教育学部脳機能病態学分野神経精神科学,
2. 国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科

P2-3 社交恐怖症状を呈した子どもの治療経験の検討

磯崎 仁太郎¹, 田仲 美緒¹, 渡邊 由佳², 陶山 寧子³, 金井 剛⁴, 執印 孝子⁵,
竹内 直樹¹
1. 横浜市立大学附属病院児童精神科, 2. 横浜市北部児童相談所,
3. 横浜市南部地域療育センター, 4. 横浜市中央児童相談所,
5. 神奈川県立総合療育相談センター

P2-4 児童期または青年期早期に発症した双極性障害の症例研究

堀部 愛由美¹, 鈴木 太², 長沼 成子¹, 吉川 徹², 栗山 貴久子², 野邑 健二³,
本城 秀次³

1. 名古屋大学医学部附属病院精神科, 2. 名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科,
3. 名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター

P2-5 青年期情緒障害外来を受診した青年期境界例の症例研究

長沼 成子¹, 鈴木 太², 堀部 愛由美¹, 吉川 徹², 栗山 貴久子², 野邑 健二³,
本城 秀次³

1. 名古屋大学医学部附属病院精神科, 2. 名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科,
3. 名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター

ポスター

9:20 ~ 11:20

◆青年・成人期の発達障害支援 1 (9:20 ~ 10:05)

座長/田中 哲 (東京都立小児総合医療センター)

P5-1 大人になって合併症を示して来院した注意欠陥・多動性障害者への治療的アプローチの試み [第5報] アスペルガー症候群との比較検討

星野 仁彦

福島学院大学大学院附属心理臨床相談センター

P5-2 成人精神疾患患者における3つの発達障害評価尺度の有用性の検討

末廣 佑子¹, 飯田 順三², 太田 豊作³, 澤田 将幸³, 根来 秀樹⁴, 村本 葉子⁵,
田中 尚平³, 岸本 直子³, 岸本 年史³

1. 東大阪市立総合病院精神神経科, 2. 奈良県立医科大学医学部看護学科,
3. 奈良県立医科大学精神医学教室, 4. 奈良教育大学, 5. 天理よろづ相談所病院精神神経科

P5-3 成人期広汎性発達障害の就労支援とその問題について (第2報)

菅野 智美¹, 本田 教一², 上田 敦子¹, 川村 雅之¹

1. 舞子浜病院, 2. 松村総合病院

◆疫学・統計 2 (10:20 ~ 11:20)

座長/豊永 公司 (大阪市立総合医療センター児童青年精神科)

P6-1 単科精神科病院から小児総合病院への移行に伴う児童精神科の外来・入院患児の変化について

伊藤 一之, 山崎 透, 石垣 ちぐさ, 大石 聡, 内田 直子, 末田 慶太郎,
鈴木 光二郎

静岡県立こども病院こころの診療科

P6-2 大阪市立総合医療センター児童青年精神科外来における軽度発達障害の長期経過についての研究

佐藤 寛, 補永 栄子, 中村 裕香, 岡 崇史, 久野 節子, 田中 千代, 榎木 直恵,
幸 美智恵, 豊永 公司

大阪市立総合医療センター

P6-3 精神科診療所におけるH20年の児童・思春期の外来統計

—精神科病院のH7-10年およびH18年との比較—

奥野 正景¹, 岡田 恵里², 平沼 典子², 千頭 孝史³

1. 医療法人サザカム会三国丘病院・三国丘こころのクリニック精神科,
2. 医療法人サザカム会三国丘病院・三国丘こころのクリニック心理室,
3. 医療法人サザカム会三国丘病院精神科

P6-4 愛媛大学医学部附属病院精神科外来を受診した成人期広汎性発達障害の検討

河邊 憲太郎¹, 長谷川 英美², 安部 賢郎², 堀内 史枝²

1. 堀江病院, 2. 愛媛大学大学院医学系研究科脳とこころの医学

◆器質性精神障害 (9:20 ~ 10:05)

座長/吉川 徹 (名古屋大学医学部附属病院)

P9-1 Influenza B virus 感染に伴い初回躁病エピソードを呈した青年期双極性障害の1例

石飛 信
福井大学医学部病態制御医学講座精神医学領域

P9-2 卵巣奇形腫に伴い急性に精神病症状を呈した抗 NMDA 受容体脳炎の一例

鈴木 雄介
群馬県立精神医療センター

P9-3 非定型的な精神症状が続いた後てんかん発作が生じた異所性灰白質の一例

本田 教一, 菅野 智美, 上田 敦子, 川村 雅之
舞子浜病院

◆心理検査・評価尺度 2 (10:20 ~ 11:20)

座長/金子 一史 (名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター)

P10-1 成人期の統合失調症と広汎性発達障害を鑑別するための考案 (第2報)

- Japanese Adult Reading Test (JART) と WAIS-R を用いた検討 -

山室 和彦¹, 太田 豊作², 飯田 順三³, 澤田 将幸², 田中 尚平², 岸本 直子²,
末廣 佑子⁴, 村本 葉子¹, 根来 秀樹⁵, 岸本 年史²1. 天理よろづ相談所病院精神神経科, 2. 奈良県立医科大学精神医学教室,
3. 奈良県立医科大学医学部看護学科, 4. 東大阪市立総合病院精神神経科, 5. 奈良教育大学

P10-2 広汎性発達障害のロールシャッハ・テストについて-統合失調症との比較-

岸本 直子¹, 飯田 順三², 太田 豊作¹, 澤田 将幸¹, 姜 昌勲³, 相原 加苗⁴,
田中 尚平¹, 定松 美幸¹, 岸本 年史¹1. 奈良県立医科大学精神医学教室, 2. 奈良県立医科大学医学部看護学科,
3. きょうこころのクリニック, 4. 大阪市中央児童相談所

P10-3 多動を伴った高機能 PDDNOS 児の認知機能と社会的コミュニケーション障害との関連: ADHD 児との比較

辻井 農亜¹, 岡田 章², 佐藤 篤¹, 花田 一志¹, 松尾 順子², 楠部 剛史¹, 白川 治¹

1. 近畿大学医学部精神神経科学教室, 2. 近畿大学医学部奈良病院メンタルヘルス科

P10-4 広汎性発達障害児と注意欠陥多動障害児の WISC-III プロフィールの検討 ~ “9歳の壁” の観点を中心に ~

小林 志代, 溝口 健介, 毛呂 佐代子
医療法人喜志会ケン・クリニック

◆薬物治療 (15:50 ~ 17:05)

座長/渡部 京太 (国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科)

P3-1 AD / HD 患者におけるアトモセチンの長期投与 (最長4年間) の安全性及び有効性: 短期プラセボ対照二重盲検比較試験及び長期継続投与試験の併合解析

後藤 太郎¹, 多喜田 保志¹, 高橋 道宏^{1,2}

1. 日本イーライリリー, 2. 寺内・高橋心療クリニック

P3-2 注意欠如・多動性障害の広汎性発達障害症状に対する Methylphenidate 徐放錠の効果

浦谷 光裕¹, 太田 豊作², 飯田 順三³, 相原 加苗⁴, 勝山 真介¹, 岸本 年史²1. 東大阪市療育センター, 2. 奈良県立医科大学精神医学教室,
3. 奈良県立医科大学医学部看護学科, 4. 大阪市こども相談センター

P3-3 不注意に対する薬物療法開始後に、睡眠時ミオクローヌスに気付かれた1例

羽田 紘子, 大倉 勇史, 市川 宏伸
東京都立小児総合医療センター児童思春期精神科

P3-4 Aripiprazole (アリピプラゾール) の易刺激性への効果について

～広汎性発達障害児の不登校症例を中心に～

金子 浩二¹, 清野 百合¹, 平野 紗世¹, 本岡 真由子¹, 宮脇 大²

1. かねこクリニック, 2. 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

P3-5 小児 Social Anxiety Disorder に対して sertraline が奏効した 1 症例

赤間 史明, 加藤 晃司, 松本 英夫

東海大学病院

◆バイオマーカー (17:10 ~ 18:10)

座長/中村 和彦 (浜松医科大学精神神経科)

P4-1 児童思春期強迫性障害における近赤外線スペクトロスコピー (NIRS)

—注意欠如・多動性障害との比較—

太田 豊作¹, 飯田 順三², 澤田 将幸¹, 田中 尚平¹, 根来 秀樹³, 定松 美幸¹,

岸本 年史¹

1. 奈良県立医科大学精神医学教室, 2. 奈良県立医科大学医学部看護学科, 3. 奈良教育大学

P4-2 児童思春期強迫性障害における事象関連電位

—注意欠如・多動性障害との比較—

太田 豊作¹, 飯田 順三², 澤田 将幸¹, 田中 尚平¹, 根来 秀樹³, 定松 美幸¹,

岸本 年史¹

1. 奈良県立医科大学精神医学教室, 2. 奈良県立医科大学医学部看護学科, 3. 奈良教育大学

P4-3 事象関連電位による広汎性発達障害と注意欠如・多動性障害の併存の検討

澤田 将幸¹, 飯田 順三², 太田 豊作¹, 根来 秀樹³, 田中 尚平¹, 定松 美幸¹,

岸本 年史¹

1. 奈良県立医科大学精神医学教室, 2. 奈良県立医科大学看護学科, 3. 奈良教育大学

P4-4 広汎性発達障害におけるリンパ芽球を用いた mRNA 発現定量解析についての検討

安田 由華¹, 橋本 亮太²

1. 大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学講座精神医学教室,

2. 大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究所

ポスター

15:50 ~ 18:25

◆デイケア・ショートケア (15:50 ~ 17:05) 座長/大島 正浩 (メンタルクリニック・ダダ)

P7-1 クリニックにおける児童思春期デイケア

—『25歳以下』という年齢制限の意義と治療効果—

日下部 智一, 片野 みどり, 加藤 恵子, 加藤 由起子

加藤メンタルクリニック

P7-2 精神科デイケアを利用した小中学生の経過と精神科デイケアの治療効果

—子どもと保護者へのアンケート調査で明らかとなったもの—

吉田 弘和, 本間 博彰, 小野寺 滋実, 佐藤 美和子

宮城県子ども総合センター

P7-3 精神科デイケアにおける成人期広汎性発達障害者向けプログラムの試み

滝田 知子¹, 三宅 和佳子², 亀岡 智美¹

1. 大阪府こころの健康総合センター, 2. 大阪府中央子ども家庭センター

P7-4 青年期ショートケアの取り組み

—青年期の発達障害者へのグループ支援プログラムの実際

平沼 典子¹, 奥野 正景², 進藤 英次¹, 千頭 孝史³

1. 医療法人サザカム会三国丘病院・三国丘こころのクリニック心理室,

2. 医療法人サザカム会三国丘病院三国丘・こころのクリニック精神科,

3. 医療法人サザカム会三国丘病院精神科

P7-5 精神科ショートケアの枠組みを用いた不登校児のグループ療法の試み

岡田 恵里¹, 奥野 正景², 平沼 典子¹, 千頭 孝史³

1. 医療法人サザカム会三国丘病院三国丘・こころのクリニック心理室,

2. 医療法人サザカム会三国丘病院三国丘・こころのクリニック精神科,

3. 医療法人サザカム会三国丘病院精神科

◆心理検査・評価尺度3 (17:10～18:25) 座長／横山 富士男 (埼玉医科大学神経精神科)

- P8-1 幼児期の広汎性発達障害のこだわり行動の特徴—コミュニティサンプルとの比較から
小倉 正義¹, 田中 裕子², 本城 秀次², 吉川 徹³, 若子 理恵⁴
1. 鳴門教育大学大学院学校教育研究科, 2. 名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター,
3. 名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科,
4. 豊田市こども発達センターのぞみ診療所
- P8-2 自閉症スペクトラム障害幼児にみられる限局的反復的行動 — 2～4歳での変化—
井口 英子, 稲田 尚子, 小山 智典, 神尾 陽子
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・思春期精神保健研究部
- P8-3 学齢期の高機能自閉症スペクトラム障害児における対人応答性尺度 (SRS) 日本語版
の臨床的利用について
森脇 愛子^{1,2}, 神尾 陽子¹
1. 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・思春期精神保健研究部,
2. 東京学芸大学大学院連合
- P8-4 日本語版反復的行動尺度修正版 (RBS-R) の信頼性・妥当性に関する予備的検討
稲田 尚子¹, 黒田 美保², 小山 智典¹, 井口 英子¹, 神尾 陽子¹
1. 国立精神・神経医療研究センター, 2. 東海学院大学
- P8-5 児童精神科外来における The Spence Children Anxiety Scale (SCAS) の有用性につ
いて
宇佐美 政英¹, 齊藤 万比古¹, 渡部 京太¹, 小平 雅基¹, 岩垂 喜貴¹, 井上 祐紀²
1. 国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科,
2. 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部

ポスター

15:50～18:25

◆リエゾン2 (15:50～17:05) 座長／清家 洋二 (神奈川県立総合療育相談センター)

- P11-1 小児病院における、コンサルテーションリエゾン精神医学的関与について①
— 当院における医療スタッフへのアンケート調査から—
小杉 恵, 平山 哲, 小林 美智子, 山本 悦代, 川野 由子, 澤田 真智子
大阪府立母子保健総合医療センター発達小児科
- P11-2 小児病院におけるコンサルテーション・リエゾン精神医学的関与について②
— 様々な病棟での心理士活動の模索—
山本 悦代, 澤田 真智子, 川野 由子, 小杉 恵, 平山 哲, 小林 美智子
大阪府立母子保健総合医療センター発達小児科
- P11-3 小児病院におけるコンサルテーション・リエゾン精神医学的関与について③
～小児がん病棟における心理士の活動～
澤田 真智子, 山本 悦代, 小杉 恵, 平山 哲, 小林 美智子
大阪府立母子保健総合医療センター発達小児科
- P11-4 当センターにおけるコンサルテーション・リエゾンの特徴と今後の展望
馬場 正和, 山内 裕子, 直井 高歩, 舟橋 敬一, 中野 三津子, 笠原 麻里, 生田 憲正,
宮尾 益知, 奥山 真紀子
国立成育医研究センターこころの診療部
- P11-5 1型糖尿病に罹患した前青年期～青年期前期患者についての精神医学的検討
庄 紀子¹, 生地 新², 石川 弥生¹, 豊原 公司¹, 藤田 純一¹, 南 達哉¹, 清家 洋二³,
新井 卓¹
1. 神奈川県立こども医療センター児童思春期精神科,
2. 北里大学大学院医療系研究科発達精神医学, 3. 神奈川県立総合療育相談センター

◆**統合失調症 (17:10 ~ 18:25)** 座長／亀岡智美 (大阪府こころの健康総合センター)

P12-1 思春期診療における At risk mental state の頻度調査

齊藤 まなぶ¹, 菅原 知子²

1. 弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座, 2. 弘前大学医学部附属病院

P12-2 思春期発症の統合失調症初発エピソードに対する aripiprazole の有用性の検討

—Drug-naïve 2 例, 切り替え 2 例—

大下 隆司

東京女子医科大学神経精神科心身医療科

P12-3 児童思春期精神科医療と司法精神科医療の連携

～重大な他害行為を行った思春期統合失調症事例を通じて～

大館 太郎

群馬県立精神医療センター

P12-4 青年期に境界線知能と診断されたが、その後の経過から統合失調症の前駆期であったことが示唆された一症例

中東 功一^{1,2}, 岡田 俊¹

1. 京都大学大学院医学研究科精神医学分野, 2. 滋賀里病院

P12-5 「こっくりさん」遊びによる憑依状態が契機となって発症した統合失調症

上床 輝久^{1,2}, 岡田 俊²

1. 京都大学保健管理センター, 2. 京都大学大学院医学研究科精神医学分野

第2日 10月29日(金) F会場(商工会議所サクラ)

ワークショップ2 子どもの心の救急—取り組みの実例—

9:00 ~ 11:30

ワークショップ2 関連特別講演：小児精神科に強い医療陣養成

寺澤 秀一 (福井大学医学部地域医療推進講座)

司会／新井 卓 (神奈川県立こども医療センター児童思春期精神科)

W2-1 小児精神科救急の実際

宮崎 健祐 (東京都立小児総合医療センターこころの専門診療部児童思春期精神科)

W2-2 連携することの大切さ～心を聴くボランティアとして～

池田 洋子 (スペース・クッション)

W2-3 虐待死亡例の検証から学ぶこと—どのような虐待防止システム構築が求められるか—

小野 和哉 (東京慈恵会医科大学精神医学講座)

W2-4 被虐待児対策・子どものシェルター

馬淵 泰至 (ルネス総合法律事務所(弁護士)／社会福祉法人カリヨン子どもセンター評議員)

特別講演2

15:50 ~ 17:00

司会／三國 雅彦 (群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学分野)

子供の埋葬例にみる縄文時代の死生観

山田 康弘 (島根大学法文学部考古学研究室)

◆精神・心理療法1(9:00 ~ 10:00) 座長/川畑 有二(クリニック川畑)

- 010-1 自閉症スペクトラム者のカップルカウンセリングの一例
前林 尚絵¹,津川 麻子¹,山田 千冬²,浜畑 昌代³,福居 顯二⁴
1.花ノ木医療福祉センター,2.京都府立こども発達支援センター,3.五条山病院,
4.京都府立医科大学精神医学教室
- 010-2 入院治療を要し、治療に難渋した緘黙症例の検討
豊原 公司¹,小松崎 圭¹,藤田 純一¹,庄 紀子¹,南 達哉¹,石川 弥生¹,清家 洋二²,
新井 卓¹
1.神奈川県立こども医療センター,2.神奈川県立総合療育相談センター
- 010-3 モーニングワークとして遊戯療法～父を自殺で亡くした女兒への関わり～
横田 瑛子,永田 伊津香,佐藤 眞理
千葉県こども病院
- 010-4 カウンセリングとデイケアの連携から得られるもの
脇坂 奈央子,小林 優子,保母 政巳,下出 幸子,伊藤 純,大瀧 和男
かずおメンタルクリニック

◆自殺・自傷(10:20 ~ 11:35) 座長/鈴木 俊介(東京都立大塚病院児童精神科)

- 011-1 希死念慮を訴える思春期の子どもの臨床的特徴
石山(平久) 菜奈子
湘南病院
- 011-2 小児の自殺企図の臨床的検討
高橋 雄一¹,廣内 千晶¹,小林 明子¹,大森 武²,山田 芳輝³,竹内 直樹⁴
1.横浜市立大学附属市民総合医療センター児童精神科,2.湘南病院精神科,
3.あかりクリニック,4.横浜市立大学附属病院児童精神科
- 011-3 経年データによる中学生における抑うつや自殺念慮,自尊感情,自傷行為に関する
検討:予備的研究
清田 晃生¹,小笹 祥子²,今泉 京子³,大宮 宗一郎⁴,泉 達郎³
1.大分大学医学部小児科こどもメンタルクリニック,2.東京学芸大学大学院,
3.大分大学医学部小児科,3.千葉大学大学院
- 011-4 児童青年期の自傷群と自殺企図群の比較検討—防御因子の観点から—
山家 健仁
岩手医科大学神経精神科学講座
- 011-6 自傷を反復する患者に対する治療者との非言語的な活動の共有を用いた介入:
発達障害との関連を含めて
森川 真子¹,岡田 俊²
1.愛知県厚生連海南病院精神科,2.京都大学大学院医学研究科精神医学分野

助言者/青木 省三(川崎医科大学精神科学教室)

- 母子分離を促すことにより母子密着を強めた広汎性発達障害の一症例
～分裂排除の防衛機制をめぐって～
藤山 雅晴,上野 千穂,吉野 真紀,三井 浩,笹岡 佳美,木下 利彦
関西医科大学精神神経科

助言者／杉山 登志郎（あいち小児保健医療総合センター心療科）

連携か対立か、その先にあるもの

都丸 文子^{1,2}, 杉村 共英^{1,2}

1. 清川遠寿病院, 2. 都立小児総合医療センター

第 2 日 10 月 29 日（金） H 会場（商工会議所リリィー）

一般口演

9:00 ~ 11:35

◆並存症（9:00 ~ 10:15）

座長／新井 慎一（尾山台すくすくクリニック）

- 012-1 精神遅滞を伴う自閉性障害に精神疾患の合併が疑われた 5 症例について
山口 日名子, 桐山 正成, 岩城 大, 加藤 良美, 間宮 由真, 柴田 真理子
大阪府立病院機構大阪府立精神医療センター・松心園
- 012-2 精神疾患を併存する広汎性発達障害の地域生活支援の可能性と問題点
西岡 由江¹, 川淵 忠義¹, 小野 美樹², 岡田 俊²
1. 近森病院第二分院, 2. 京都大学大学院医学研究科精神医学分野
- 012-3 兄弟事例による障害特性の比較検討ー PTSD の治療経過を通してー
鈴江 美希, 齋藤 史泰, 小池 千鶴子, 有賀 道生
国立重度知的障害者総合施設のぞみの園診療所
- 012-4 嘔吐恐怖の症状を呈した二組の兄弟症例
蓮舎 寛子, 服部 優希, 藤代 真希子, 中村 道子, 水野 雅文
東邦大学医学部精神神経医学講座
- 012-5 躁うつ病とアルコール依存合併患者において PDD 併存を診断し、PDD 特性に基づき構造化した酒害教育が有効であった一症例
中東 功一^{1,2}, 岡田 俊¹, 亀岡 智美³
1. 京都大学大学院医学研究科精神医学分野, 2. 滋賀里病院,
3. 大阪府こころの健康総合センター

◆虐待・児童養護（10:20 ~ 11:35） 座長／平尾 文雄（財団法人 信貴山病院分院上野病院）

- 013-1 児童自立支援施設入所児の被虐待経験と発達の特性
松浦 直己
東京福祉大学
- 013-2 保護観察中に身柄拘束された 2 事例の検討ー被虐待等の被害者でもある非行少年の保護についてー
羽間 京子
千葉大学教育学研究科
- 013-3 乳幼児をもつ母親の虐待行動に関連する心理社会的要因
笠原 麻里¹, 各務 真紀², 小泉 智恵¹, 辻井 弘美¹, 奥山 真紀子¹
1. 国立成育医療研究センター, 2. 慶應義塾大学産婦人科
- 013-4 虐待で養護施設入所になった児童の追跡調査
蓑和 路子, 小平 かやの, 伊東 ゆたか
東京都児童相談センター
- 013-5 施設に居住する性的虐待をうけた女兒に対するトラウマ焦点化認知行動療法グループの試み
白川 美也子¹, 水島 栄², 田中 哲³
1. 昭和大学精神医学教室, 2. 国立成育医療研究センター,
3. 東京都立小児総合医療センター

◆認知機能研究 1 (15:50 ~ 17:05) 座長/岡田 俊 (京都大学大学院医学研究科精神医学分野)

014-1 自閉症スペクトラムにおける自己準拠性記憶の差異

義村 さや香¹, 伊勢 由佳利², 西村 香², 十一 元三²

1. 京都大学大学院医学研究科精神医学分野, 2. 京都大学大学院医学研究科人間健康科学

014-2 広汎性発達障害における動的表情の表象モーメントの障害

魚野 翔太¹, 佐藤 弥², 十一 元三³1. 京都大学大学院教育学研究科, 2. 京都大学霊長類研究所白眉プロジェクト,
3. 京都大学大学院医学研究科

014-3 ASD 成人の感情認知特性に対する動画刺激を用いた実験的検討 ~表情・音声の各感情判断課題と表情・音声感情の一致不一致判断課題から考える~

安達 潤, 齊藤 真善, 萩原 拓

北海道教育大学

014-4 思春期健常児における情動の読み取り能力の個人差とテストステロン水準

藤澤 隆史, 西谷 正太, 高村 恒人, 篠原 一之

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科神経機能学分野

014-5 空間関係の把握困難と適応行動との関係について

- 「鳥の絵課題」のタイプ分けに関する分析 -

立松 英子¹, 太田 昌孝²

1. 東京福祉大学, 2. 心の発達研究所

◆ADHD (17:10 ~ 18:25) 座長/岩坂 英巳 (奈良教育大学特別支援教育研究センター)

015-1 AD/HD の予後研究

富永 卓男, 中山 淑子, 須山 聡, 市川 宏伸

東京都立小児総合医療センター

015-2 日本の小中学生における ADHD 傾向の教師評定と保護者評定の比較

谷 伊織, 大西 将史, 中村 和彦, 辻井 正次

浜松医科大学

015-3 青年期および成人期 ADHD の疫学調査—スクリーニング陽性者の特徴—

大西 将史¹, 中村 和彦², 内山 敏³, 谷 伊織¹, 辻井 正次⁴, 森 則夫¹1. 浜松医科大学子どもこころの発達研究センター, 2. 浜松医科大学精神神経科,
3. 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究所, 4. 中京大学現代社会学部

015-4 ADHD Rating Scale- IV 日本語版における標準データの解析と検討

田中 康雄¹, 市川 宏伸²1. 北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター,
2. 東京都立小児総合医療センター

015-5 注意欠如多動性障害と併存症 ~診断追加例からみえること~

山脇 かおり¹, 田中 英三郎¹, 小川 しおり², 鈴木 俊介¹

1. 東京都立大塚病院児童精神科, 2. 豊田市こども発達センターのぞみ診療所